

第2章 ゆりかごの預け入れ状況とその背景

1 ゆりかごの預け入れ状況と背景

第4期（平成26年4月1日から平成29年3月31日まで）の3年間の預け入れ状況は以下のとおりである。なお、この項では第4期の預け入れ状況について客観的な事実の記載に留め、第1期、第2期及び第3期との比較に基づく第4期の特徴については、「2 ゆりかごの預け入れ状況の特徴」で述べるものとする。

なお、各項目の構成割合は小数点以下第2位を四捨五入しているため、図表に示す構成割合の合計は必ずしも100%にならない場合がある。

(1) 預け入れ時の状況

ア 預け入れられた子どもの人数および頻度

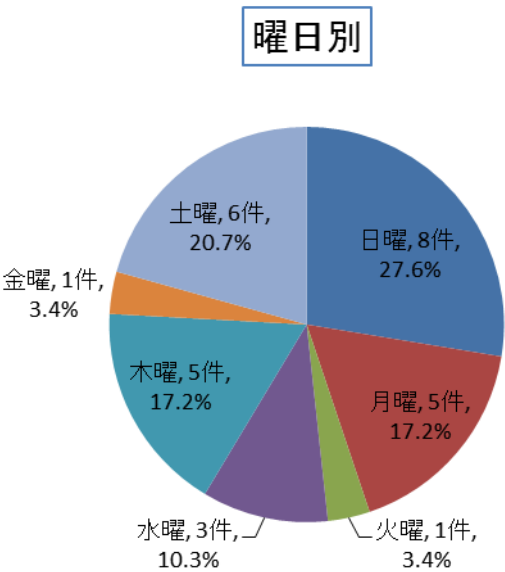
第4期の3年間に、合計29人の子どもの預け入れがあった。年度ごとの内訳は、平成26年度11人、平成27年度13人、平成28年度5人である。

この期間では1か月約0.81人のペースでの預け入れになるが、3か月単位でみた場合、最も多かった期間では5人、最も少なかった期間では0人である。また、1か月単位でみた場合、最も多い月は1か月3人である。

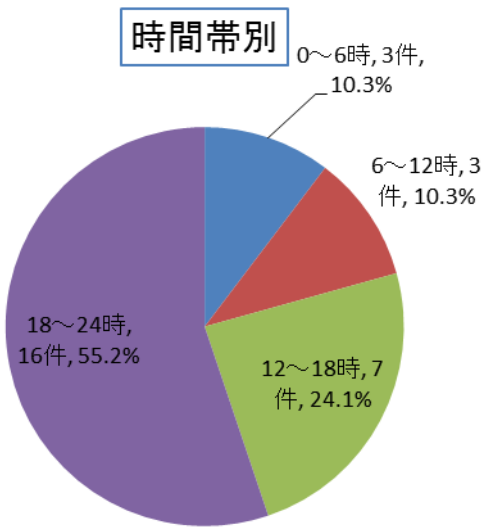
イ 子どもが預け入れられた曜日と時間帯（【図2-1】【図2-2】【表2-1】参照）

子どもが預け入れられた曜日について、29件のうち、27.6%にあたる8件が日曜日に、20.7%にあたる6件が土曜日に預けられている。また、時間帯は、18時から24時までが16件と全体の55.2%を占め、次いで12時から18時の時間帯が7件で24.1%となっている。

【図2-1】



【図2-2】



【表2-1】

【表2-1】

(単位:件、%)

第4期

項目	細項目	件数	構成割合	
預け入れ件数		29	100.0	
発見日時	曜日別	日 曜	8	27.6
		月 曜	5	17.2
		火 曜	1	3.4
		水 曜	3	10.3
		木 曜	5	17.2
		金 曜	1	3.4
		土 曜	6	20.7
		計	29	100.0
	時間帯別	0～6時	3	10.3
		6～12時	3	10.3
		12～18時	7	24.1
		18～24時	16	55.2
		計	29	100.0

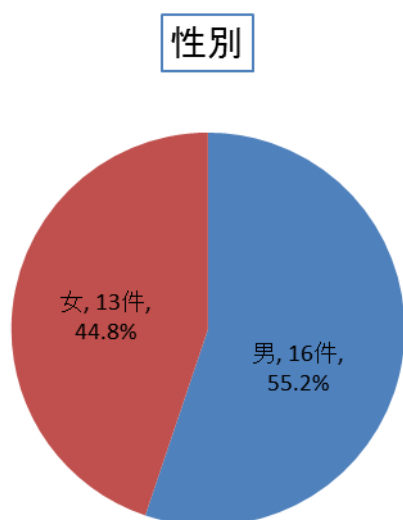
ウ 子どもの性別と年齢（【図 2-3】【図 2-4】【表 2-2】 参照）

性別は、29 件中、男児が 16 件（55.2%）、女児が 13 件（44.8%）となっている。

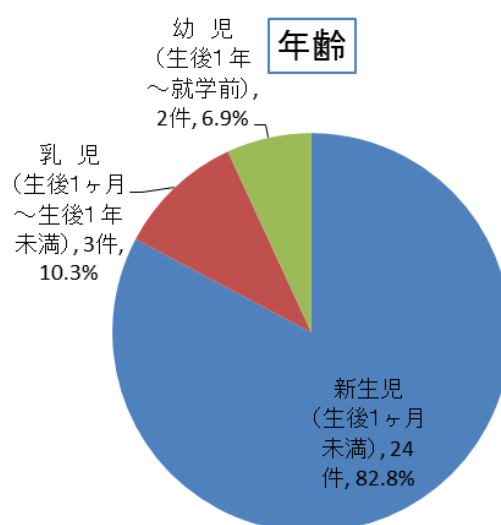
年齢区分は、新生児 24 件（82.8%）、乳児 3 件（10.3%）、幼児 2 件（6.9%）であった。

また、生後 7 日未満の早期新生児が 19 件（65.5%）で、出産から預け入れまでの期間が 1 日以内という事例が 8 件見られた。

【図 2-3】



【図 2-4】



【表2-2】

		(単位:件)	
		第4期	
項目	細項目	件数	構成割合
性 別	男	16	55.2
	女	13	44.8
	計	29	100.0
年 齢	新生児 (生後1ヶ月未満)	24	82.8
	※(うち早期新生児 (生後7日未満))	19	65.5
	乳 児 (生後1ヶ月～生後1年未満)	3	10.3
	幼 児 (生後1年～就学前)	2	6.9
	計	29	100.0
	※第3期より「早期新生児(生後7日未満)」を追加		

エ 子どもの健康状態と身体的虐待の有無（【図 2-5】【図 2-6】【表 2-3】参照）

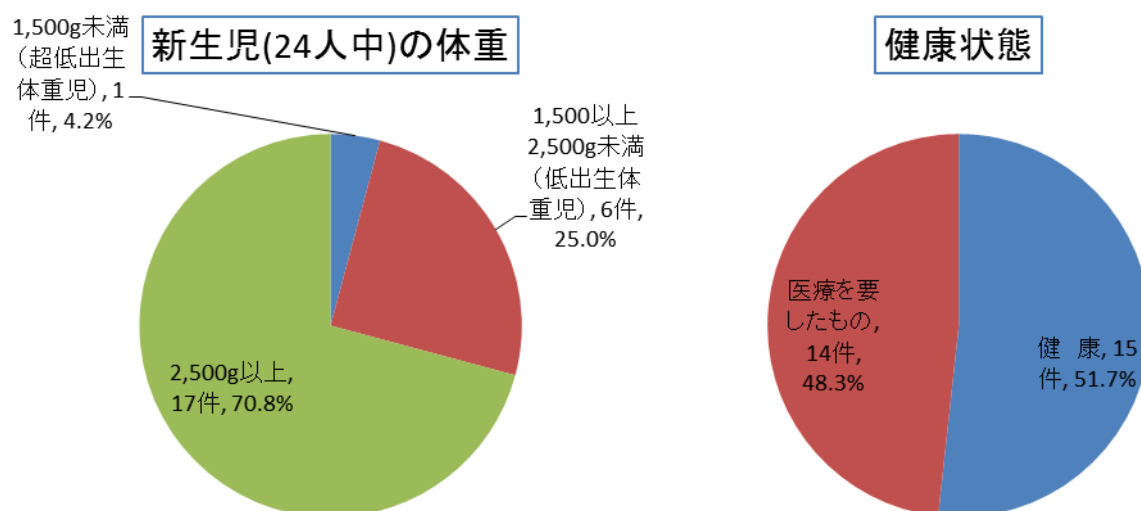
子ども（新生児）の体重は、2,500 g 以上が 17 件（新生児全体に占める割合は 70.8%）、1,500 g 以上 2,500 g 未満が 6 件（同 25.0%）、1,500 g 未満が 1 件（4.2%）であった。1,500 g 未満の超低出生体重児の預け入れは第 4 期が初めてであり、医学的な常識では非常に危険な利用である。

子どもの健康状態は、預け入れの際の医師による健康チェックの結果、異常のなかったものが 15 件（51.7%）、精密検査等何らかの医療行為を要するものが 14 件（48.3%）であった。

身体的虐待については、預け入れられた段階で子どもへの身体的な虐待の痕跡が確認できた事例はなかった。

【図 2-5】

【図 2-6】



【表 2-3】

		(単位: 件、%)	
		第 4 期	
項目	細項目	件数	構成割合
新生児の体重	1,500g未満 (超低出生体重児)	1	4.2
	1,500以上2,500g未満 (低出生体重児)	6	25.0
	2,500g以上	17	70.8
	計	24	100.0
健康状態	健 康	15	51.7
	医療を要したもの	14	48.3
	計	29	100.0

オ 病院から「両親に宛てた手紙」の持ち帰り

病院から「両親に宛てた手紙」が持ち帰られていた事例が 22 件（75.9%）あった。

カ 遺留品

預け入れられた子どもの着衣以外の「物」が残されていた事例は、全 29 件のうち 12 件（41.4%）であった。このうち親からの手紙が 10 件（34.5%）あり、その他にはオムツ、バスタオル、ぬいぐるみ等があった。

キ 父母等からの事後接触（【表 2-4】参照）

預け入れ後、父母等からの事後接触があったものは 29 件中、7 件（24.1%）であった。
接触の時期については、当日から 1 週間未満であった。

【表 2-4】

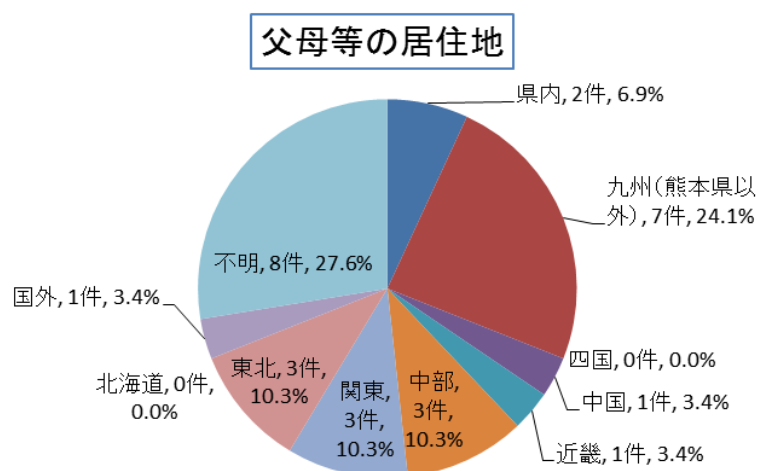
項目	細項目	第 4 期	
		件数	構成割合
事後接触	接触の有無	7	24.1
	父母等からの事後接触の有無		
	当日	3	42.9
	2日目～1週間未満	4	57.1
	1週間以上～1月未満	0	0.0
	1月以上	0	0.0
	計	7	100.0

（2）家族等の状況

ア 父母等の居住地（【図 2-7】【表 2-5】参照）

子どもの父母等の居住地は、29 件のうち 21 件（72.4%）判明している。その内訳は、熊本県内が 2 件（6.9%）、熊本県以外の九州地方が 7 件（24.1%）、中国地方と近畿地方がそれぞれ 1 件（3.4%）、中部地方、関東地方及び東北地方がそれぞれ 3 件（10.3%）、また今回初めて国外から 1 件（3.4%）預け入れがあった。

【図 2-7】



【表 2-5】

項目	細項目	第 4 期	
		件数	構成割合
父母等の居住地	県内	2	6.9
	九州(熊本県以外)	7	24.1
	四国	0	0.0
	中国	1	3.4
	近畿	1	3.4
	中部	3	10.3
	関東	3	10.3
	東北	3	10.3
	北海道	0	0
	国外	1	3.4
	不明	8	27.6
	計	29	100.0

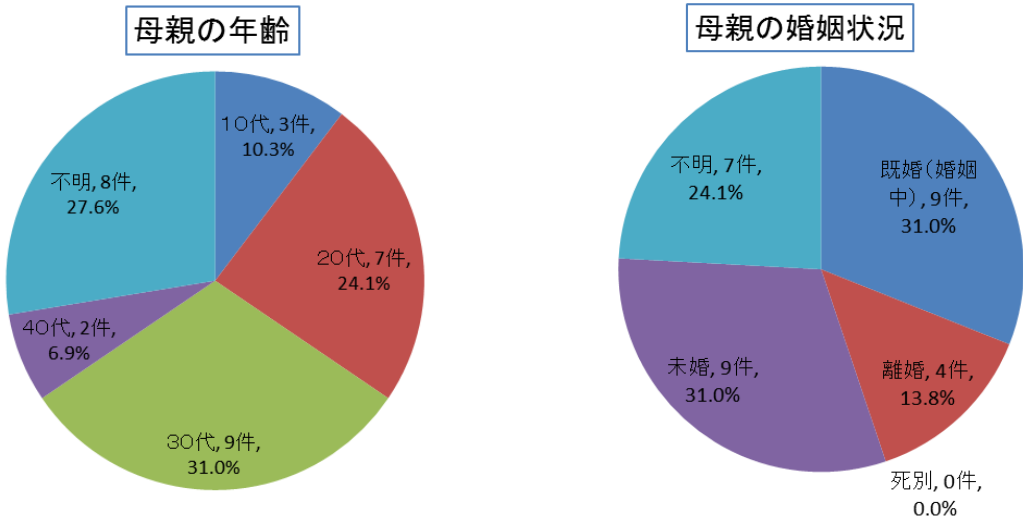
イ 母親の状況（【図 2-8】【図 2-9】【表 2-6】参照）

判明した母親の状況について、年齢は、10代3件（10.3%）、20代7件（24.1%）、30代9件（31.0%）、40代2件（6.9%）と10代から40代まで幅広い年代にわたっている。婚姻状況は、既婚（婚姻中）及び未婚がそれぞれ9件（31.0%）、離婚が4件（13.8%）であった。

なお、預け入れに来た者の身元が判明していない場合でも、細項目が判明していれば計上している。（以降同様）

【図 2-8】

【図 2-9】



【表 2-6】

(単位: 件、%)

		第4期	
項目	細項目	件数	構成割合
母親の年齢	10代	3	10.3
	20代	7	24.1
	30代	9	31.0
	40代	2	6.9
	不明	8	27.6
	計	29	100.0
母親の婚姻状況 ※第3期より「死別」を追加	既婚(婚姻中)	9	31.0
	離婚	4	13.8
	死別	0	0.0
	未婚	9	31.0
	不明	7	24.1
	計	29	100.0

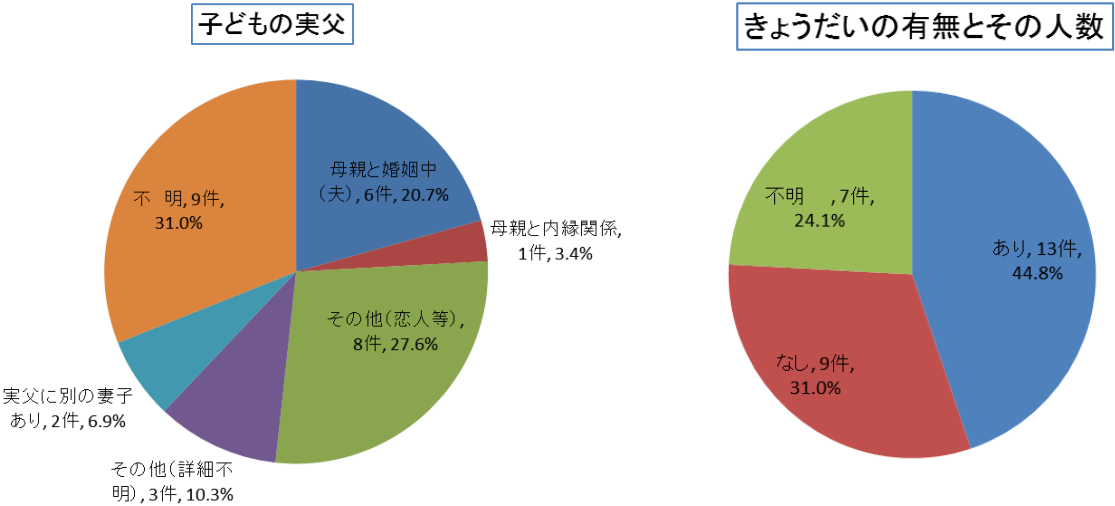
ウ 父親、きょうだいの状況（【図 2-10】【図 2-11】【表 2-7】 参照）

判明した父親の状況について、その他（恋人等）が 8 件（27.6%）、母親と婚姻中（夫）が 6 件（20.7%）、その他（詳細不明）が 3 件（10.3%）であった。

判明したきょうだいの状況について、預け入れられた子どもにきょうだいがいる事例が 13 件（44.8%）で、そのうち 10 件がきょうがいがい 3 人以上の事例であった。

【図 2-10】

【図 2-11】



【表 2-7】

		（単位：件、％）	
		第 4 期	
項目	細項目	件数	構成割合
子どもの実父	母親と婚姻中（夫）	6	20.7
	母親と内縁関係	1	3.4
	その他（恋人等）	8	27.6
	その他（詳細不明）	3	10.3
	実父に別の妻子あり	2	6.9
	不 明	9	31.0
	計	29	100.0
きょうだいの状況	あ り	13	44.8
	（うち3人以上）	10	34.5
	な し	9	31.0
	不 明	7	24.1
	計	29	100.0

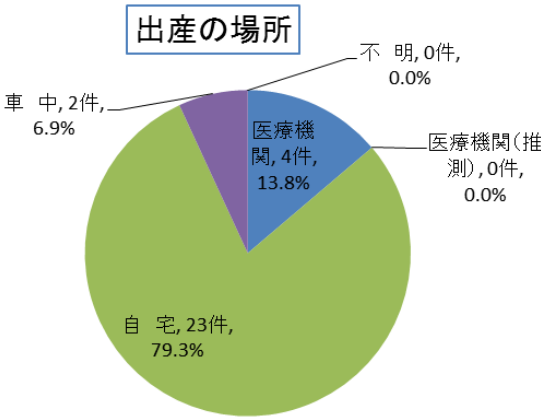
（ 3 ） 預 け 入 れ の 経 緯

ア 出産の場所

（【図 2-12】【表 2-8】 参照）

29 件中、医療機関で出産した事例が 4 件（13.8%）、自宅出産（孤立出産）事例が 23 件（79.3%）、見られた。妊娠したこと自体を家族等周りの者が気付かなかった事例が複数あった。

【図 2-12】



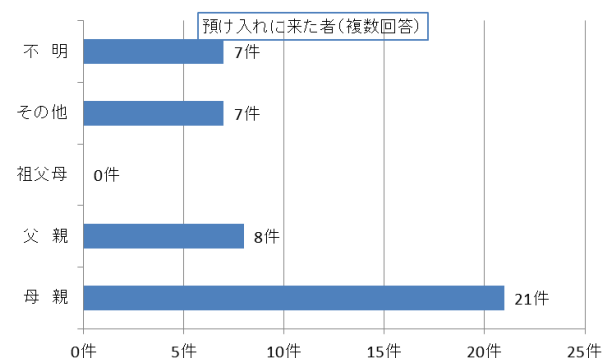
なお、預け入れに来た者と接触できず出産の状況が確認できない場合、子どもの臍の緒の処理状況及び採血跡等により医療機関または自宅分娩かを判断する。また、生後日数が経過し、これにより確認できない場合は、不明となる。

【表2-8】

		(単位:件、%)	
		第4期	
項目	細項目	件数	構成割合
出産の場所	医療機関	4	13.8
	医療機関(推測)	0	0.0
	自宅	23	79.3
	車中	2	6.9
	不明	0	0.0
	計	29	100.0

イ 子どもを預け入れに来た者（【図 2-13】【表 2-9】 参照） 【図 2-13】

母親が預け入れに来た事例が 21 件（72.4%）あるが、そのうち母親が一人で預け入れに来た事例が 11 件（25.6%）、両親で預け入れに来た事例が 8 件（18.6%）のほか、友人等と一緒に預け入れに来た事例が見られた。（複数回答）



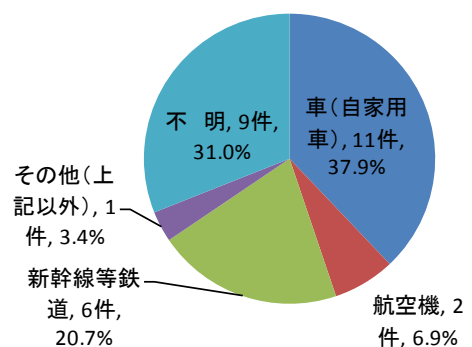
【表2-9】

		(単位:件、%)	
		第4期	
項目	細項目	件数	構成割合
預け入れに来た者 (複数回答)	母 親	21	72.4
	父 親	8	27.6
	祖父母	0	0.0
	その他	7	24.1
	不 明	7	24.1
	計	43	—

ウ 主たる移動（交通）手段（【図 2-14】【表 2-10】 参照） 【図 2-14】

ゆりかごまでの移動手段としては、第3期以前の検証同様、車（自家用車）が 11 件（37.9%）で最も多く、以降新幹線等鉄道 6 件（20.7%）、航空機 2 件（6.9%）となっている。預け入れに来た者の居住地が遠い場合、公共交通機関の利用割合が高くなっている。

主たる移動（交通）手段



【表2-10】

		(単位:件、%)	
		第4期	
項目	細項目	件数	構成割合
ゆりかごまでの 主たる移動 (交通)手段	車(自家用車)	11	37.9
	航空機	2	6.9
	新幹線等鉄道	6	20.7
	その他(上記以外)	1	3.4
	不 明	9	31.0
	計	29	100.0

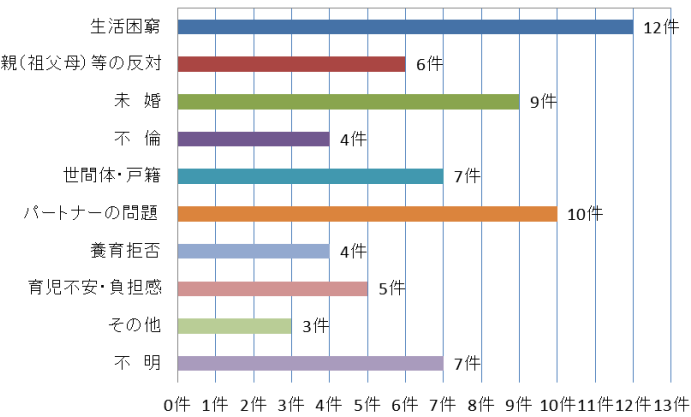
エ ゆりかごに預け入れた理由

(複数回答。【図 2-15】【表 2-11】参照)

ゆりかごに預け入れた理由は、生活困窮 12 件 (41.4%)、未婚 9 件 (31.0%)、世間体・戸籍 7 件 (24.1%)、親(祖父母)等の反対が 6 件 (20.7%)、育児不安・負担感 5 件 (17.2%) となっている。

【図 2-15】

ゆりかごに預け入れた理由(複数回答)



【表2-11】

(単位:件、%)

項目	細項目	第4期	
		件数	構成割合
ゆりかごに 預け入れた理由 (第2期以降複数回答) (預け入れに来た者からの聞き取りなどを 基に分類)	生活困窮	12	41.4
	親(祖父母)等の反対	6	20.7
	未婚	9	31.0
	不倫	4	13.8
	世間体・戸籍	7	24.1
	パートナーの問題	10	34.5
	養育拒否	4	13.8
	育児不安・負担感	5	17.2
	その他	3	10.3
	不明	7	24.1
	計	67	—

2 ゆりかごの預け入れ状況の特徴

この項においては、第1期、第2期、第3期の預け入れ状況との比較により第4期のゆりかごの預け入れ状況の特徴について述べる。

(1) 預け入れ時の状況

ア 預け入れられた子どもの人数（【表2-12】参照）

第4期の預け入れは29件で、月平均預け入れ件数から見ると、第1期は1.76件、第2期は1.25件、第3期は0.67件、第4期は0.81件と微増している。

【表2-12】

					(単位:件)
項 目	第1期	第2期	第3期	第4期	合 計
	件数	件数	件数	件数	件数
預け入れ件数	51	30	20	29	130
月平均預け入れ件数	1.76	1.25	0.67	0.81	1.12

イ 預け入れ前の家族等への相談について

自宅出産（孤立出産）の23件中、母親が一人で預け入れに来た事例が7件あり、さらに妊娠や出産の事実すら誰にも話さないままに預け入れに至ったと思われる事例は4件であった。その中には、妊娠したことにすら同居の家族は気付かず、相談もできずに一人で自宅出産（孤立出産）していた事例も見られる等、母親がひとりで悩む状況が推察できた。一方で、父親と共に預け入れに来た事例が6件であった。

ウ 預け入れの理由について（【表2-13】参照）

生活困窮を理由とする預け入れの割合が複数回答となった第2期以降増加傾向にある。また、親（祖父母）等の反対を理由とする預け入れの割合が、第3期まで5%前後であったが、第4期は20.7%と第3期に比べ15.7%増えている。更に、育児不安・負担感を理由とする預け入れの割合が、第3期は0%であったのに対し第4期は17.2%と増えている。

【表2-13】

【表2-13】				(単位:件、%)								
項目		細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
			件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
ゆりかごに 預け入れた理由 (第2期以降複数回答) (預け入れに来た者からの 聞き取りなどを基に分類)	生活困窮		7	13.7	9	30.0	6	30.0	12	41.4	34	26.2
	親(祖父母)等の反対		1	2.0	2	6.7	1	5.0	6	20.7	10	7.7
	未 婚		3	5.9	9	30.0	6	30.0	9	31.0	27	20.8
	不 倫		5	9.8	4	13.3	4	20.0	4	13.8	17	13.1
	世 間 体 ・ 戸 籍	世間体	3	5.9	6	20.0	1	5.0	7	24.1	25	19.2
		戸籍 (に入れたくない)	8	15.7								
	パートナーの問題		2	3.9	6	20.0	4	20.0	10	34.5	22	16.9
	養育拒否		2	3.9	2	6.7	2	10.0	4	13.8	10	7.7
	育児不安・負担感						0	0.0	5	17.2	5	3.8
	そ の 他	その他	4	7.8	5	16.7	1	5.0	3	10.3	15	11.5
		強 姦	0	0.0								
		母親のうつ・精神障がい	1	2.0								
		友人の勧め	1	2.0								
不 明		14	27.5	4	13.3	8	40.0	7	24.1	33	25.4	
計		51	100.0	47	—	33	—	67	—	198	—	

エ 乳幼児の預け入れ事例について（【表 2-14】参照）

新生児の預け入れを想定した施設にもかかわらず、第3期以前の検証同様、乳児3件の預け入れ事例があった。幼児についても2件の預け入れがあった。

【表2-14】

		第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
項目	細項目	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
年 齢 ※第3期より「早期新生児（生後7日未満）」を追加したため、第1期・第2期についても表示	新生児 （生後1ヶ月未満）	43	84.3	21	70.0	19	95.0	24	82.8	107	82.3
	※(うち早期新生児 （生後7日未満）)	21	41.2	17	56.7	10	50.0	19	65.5	67	51.5
	乳 児 （生後1ヶ月～生後1年未満）	6	11.8	5	16.7	1	5.0	3	10.3	15	11.5
	幼 児 （生後1年～就学前）	2	3.9	4	13.3	0	0.0	2	6.9	8	6.2
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	130	100.0

オ 子どもの健康状態について（【表 2-15】参照）

第4期で医療を要した子どもは、14人で、第1期以降増加し続けている。これらの事例では、預け入れの際の医師による健康チェックの結果、低出生体重児（2,500g未満）等のため治療を行っているが、この背景には、自宅出産等（孤立出産）事例が急増していることが影響していると考えられる。

【表2-15】

		第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
項目	細項目	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
健康状態	健 康	47	92.2	28	93.3	11	55.0	15	51.7	101	77.7
	医療を要したもの	4	7.8	2	6.7	9	45.0	14	48.3	29	22.3
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	130	100.0

カ 障がいのある子どもの事例について（【表 2-16】参照）

障がいがある子どもが預け入れられた事例が3件（10.3%）あった。全体に占める障がいのある子の割合は、第3期までの11件（10.9%）とほぼ変わらない状況である。

第3期までと同様に子どもの障がいを受容できず、育児等の悩みに耐えかねての預け入れの事例が見られた。

【表2-16】

		第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
項 目		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
障がいのある子どもの預け入れ		5	9.8	3	10.0	3	15.0	3	10.3	14	10.8

（2）家族等の状況

ア 親の判明について（【表 2-17】参照）

預け入れ状況の年度公表時点で親が判明したのは、第1期で78.4%、第2期では、86.7%、第3期では60.0%に対し、第4期では72.4%と、第3期と比較すると判明の割合が上がっており、その場での預け入れ者との相談に繋がったもの、あるいは、その後の社会調査

や児童相談所間の連携により身元判明につながっているものの、第1期、第2期より低い状況である。

親が判明しない要因として、預け入れに来た者と接触できない事例の中で、全国の児童相談所や実父母の家族に知られたくないため身元を明かさなかった等の事例があったためである。さらには、病院側があえて積極的に預け入れに来た者との接触を行わない方針をとっていることも影響しているものと考えられる。

なお、病院には、子どもの出自を知る権利の確保のためにも、でき得る限り預け入れに来た者と接触を試みるよう求めている。

【表2-17】

(単位:件、%)

	第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
	各年度等公表時点		各年度等公表時点		各年度等公表時点		各年度等公表時点			
	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
身元判明	40	78.4	26	86.7	12	60.0	21	72.4	99	76.2
身元不明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	8	27.6	31	23.8
合 計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	130	100.0

イ 子どもの父親、きょうだいについて（【表2-18】参照）

妻子がある父親の子どもを出産し預け入れた事例、精神疾患を患っている夫の子を妊娠したが、夫に妊娠を告げると自殺するのではないかと心配し預け入れた事例、婚姻中に夫以外の者の子どもを出産し預け入れた事例があった。また、父親に妻子がある場合では、父親は当初一緒に育てるつもりだったが、妻の妊娠により別れた事例があった。

きょうだいについては、第1期において、きょうだい「あり」が47.1%、第2期で40.0%、第3期で35.0%、第4期で44.8%と増加に転じた。このうち3人以上のきょうだいの割合は、第1期15.7%、第2期26.7%、第3期35.0%に対し第4期34.5%と、第3期とほぼ同じ割合で増加傾向にある。

【表2-18】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
子どもの実父	母親と婚姻中(夫)	7	13.7	9	30.0	0	0.0	6	20.7	22	16.9
	母親と内縁関係	4	7.8	1	3.3	1	5.0	1	3.4	7	5.4
	その他(恋人等)	12	23.5	7	23.3	4	20.0	8	27.6	31	23.8
	その他(詳細不明)	9	17.6	5	16.7	3	15.0	3	10.3	20	15.4
	実父に別の妻子あり	8	15.7	4	13.3	4	20.0	2	6.9	18	13.8
	不 明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	9	31.0	32	24.6
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	130	100.0
きょうだいの状況	あ り	24	47.1	12	40.0	7	35.0	13	44.8	56	43.1
	(うち3人以上)	8	15.7	8	26.7	7	35.0	10	34.5	33	25.4
	な し	16	31.4	14	46.7	5	25.0	9	31.0	44	33.8
	不 明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	7	24.1	30	23.1
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	130	100.0

ウ その他

第1期、第2期では、父母共に日本に居住する外国人という事例が、第3期では、父親が日本に居住する外国人という事例があったが、第4期では父母共に国外に居住する外国人という事例があった。

(3) 預け入れの経緯

ア 自宅出産等（孤立出産）事例について（【表 2-19】 参照）

自宅出産等（孤立出産）の割合は、第1期 16 件（31.4%）、第2期 9 件（30.0%）、第3期 12 件（60.0%）に対し、第4期は 25 件（86.2%）と大幅に増えている。

自宅出産等（孤立出産）の事例は、経済的な理由で病院を受診しなかったり、家族にも相談ができずに出産を迎えた等である。出産後も処置を自分で行い、臍の緒をハサミで切る等の事例もあった。特に第4期では、1,500 g 未満の超低出生体重児の預け入れ等、新生児にとって非常に危険な状態が見られた事例もあった。

自宅出産等（孤立出産）事例（不明事例を除く）のほとんどが、妊婦健康診査未受診で、母子健康手帳の交付を受けていなかった。

また、あらかじめインターネットで調べてゆりかごに預けようと考え、自宅出産（孤立出産）した事例が複数見られた。

【表2-19】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
出産の場所	医療機関	24	47.1	17	56.7	5	25.0	4	13.8	50	38.5
	医療機関(推測)	4	7.8	1	3.3	1	5.0	0	0.0	6	4.6
	自 宅	15	29.4	8	26.7	12	60.0	23	79.3	58	44.6
	車 中	1	2.0	1	3.3	0	0.0	2	6.9	4	3.1
	不 明	7	13.7	3	10.0	2	10.0	0	0.0	12	9.2
	計	51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	130	100.0

イ 遠距離の移動について

生後7日未満で預け入れに来た事例が第4期では 19 件（65.5%）あった。中には自宅で出産し、その日のうちに母親自身が遠距離を移動して預け入れに来る等、母子にとって危険な状態が懸念される事例が第3期までと同様に第4期でも複数見られた。

(4) ゆりかごの預け入れ状況公表項目一覧

（【表 2-20】【表 2-21】【表 2-22】 参照）

ゆりかご預け入れに係る第1期（平成19年5月10日から平成21年9月30日まで）、第2期（平成21年10月1日から平成23年9月30日まで）、第3期（平成23年10月1日から平成26年3月31日まで）、第4期（平成26年4月1日から平成29年3月31日まで）の状況は次のとおりである。

【表2-20】

(単位:件、%)

			第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
項目	細項目		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
預け入れ件数			51	100.0	30	100.0	20	100.0	29	100.0	130	100.0
発見日時	曜日別	日 曜	8	15.7	4	13.3	3	15.0	8	27.6	23	17.7
		月 曜	4	7.8	4	13.3	3	15.0	5	17.2	16	12.3
		火 曜	7	13.7	2	6.7	1	5.0	1	3.4	11	8.5
		水 曜	7	13.7	5	16.7	3	15.0	3	10.3	18	13.8
		木 曜	10	19.6	4	13.3	0	0.0	5	17.2	19	14.6
		金 曜	8	15.7	1	3.3	5	25.0	1	3.4	15	11.5
		土 曜	7	13.7	10	33.3	5	25.0	6	20.7	28	21.5
	時間帯別	0～6時	8	15.7	6	20.0	3	15.0	3	10.3	20	15.4
		6～12時	6	11.8	2	6.7	3	15.0	3	10.3	14	10.8
		12～18時	17	33.3	12	40.0	9	45.0	7	24.1	45	34.6
		18～24時	20	39.2	10	33.3	5	25.0	16	55.2	51	39.2
性 別		男	28	54.9	12	40.0	10	50.0	16	55.2	66	50.8
		女	23	45.1	18	60.0	10	50.0	13	44.8	64	49.2
年 齢		新生児 (生後1ヶ月未満)	43	84.3	21	70.0	19	95.0	24	82.8	107	82.3
		※(うち早期新生児 (生後7日未満))	21	41.2	17	56.7	10	50.0	19	65.5	67	51.5
		乳 児 (生後1ヶ月～生後1年未満)	6	11.8	5	16.7	1	5.0	3	10.3	15	11.5
		幼 児 (生後1年～就学前)	2	3.9	4	13.3	0	0.0	2	6.9	8	6.2
		※第3期より「早期新生児(生後7日未満)」を追加したため、第1期・第2期についても表示										
新生児の体重		1,500g未満 (超低出生体重児)	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	4.2	1	0.9
		1,500以上2,500g未満 (低出生体重児)	7	16.3	1	4.8	3	15.8	6	25.0	17	15.9
		2,500g以上	36	83.7	20	95.2	16	84.2	17	70.8	89	83.2
健康状態		健 康	47	92.2	28	93.3	11	55.0	15	51.7	101	77.7
		医療を要したもの	4	7.8	2	6.7	9	45.0	14	48.3	29	22.3
身体的虐待の疑い		虐待の疑いのあった件数	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
病院からの手紙の持ち帰り		手紙の持ち帰りの件数	36	70.6	23	76.7	18	90.0	22	75.9	99	76.2
遺留物	有の件数	置かれていたもの (着衣以外)の件数	37	72.5	16	53.3	10	50.0	12	41.4	75	57.7
	親の手紙	父母等からの 手紙のあった件数	21	41.2	8	26.7	5	25.0	10	34.5	44	33.8
戸 籍		熊本市が戸籍 を作成した件数	14	27.5	4	13.3	8	40.0	9	31.0	35	26.9
事後接触	接触の有無	父母等からの事後 接触の有無	13	25.5	6	20.0	1	5.0	7	24.1	27	20.8
	接触の時期	当 日	3	23.1	3	50.0	0	0.0	3	42.9	9	33.3
		2日目～1週間未満	6	46.2	2	33.3	1	100.0	4	57.1	13	48.1
		1週間以上～1月未満	2	15.4	1	16.7	0	0.0	0	0.0	3	11.1
		1月以上	2	15.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	7.4

【表2-21】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
父母等の居住地 ※第4期より 「国外」を追加	県 内	0	0.0	6	20.0	2	10.0	2	6.9	10	7.7
	九州(熊本県以外)	13	25.5	7	23.3	5	25.0	7	24.1	32	24.6
	四 国	1	2.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8
	中 国	4	7.8	1	3.3	2	10.0	1	3.4	8	6.2
	近 畿	4	7.8	4	13.3	1	5.0	1	3.4	10	7.7
	中 部	7	13.7	1	3.3	0	0.0	3	10.3	11	8.5
	関 東	11	21.6	7	23.3	1	5.0	3	10.3	22	16.9
	東 北	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	10.3	3	2.3
	北海道	0	0.0	0	0.0	1	5.0	0	0.0	1	0.8
	国 外							1	3.4	1	0.8
	不 明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	8	27.6	31	23.8
父母等引取り	父母等が引き取った件数	7	13.7	4	13.3	0	0.0	4	13.8	15	11.5
母親の年齢	10 代	6	11.8	4	13.3	2	10.0	3	10.3	15	11.5
	20 代	21	41.2	13	43.3	4	20.0	7	24.1	45	34.6
	30 代	10	19.6	8	26.7	3	15.0	9	31.0	30	23.1
	40 代	3	5.9	1	3.3	3	15.0	2	6.9	9	6.9
	不 明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	8	27.6	31	23.8
預け入れにきた者 (複数回答)	母 親	38	74.5	22	73.3	12	60.0	21	72.4	93	71.5
	父 親	10	19.6	6	20.0	2	10.0	8	27.6	26	20.0
	祖父母	12	23.5	5	16.7	1	5.0	0	0.0	18	13.8
	その他	12	23.5	5	16.7	3	15.0	7	24.1	27	20.8
	不 明	6	11.8	4	13.3	8	40.0	7	24.1	25	19.2
出産の場所	医療機関	24	47.1	17	56.7	5	25.0	4	13.8	50	38.5
	医療機関(推測)	4	7.8	1	3.3	1	5.0	0	0.0	6	4.6
	自 宅	15	29.4	8	26.7	12	60.0	23	79.3	58	44.6
	車 中	1	2.0	1	3.3	0	0.0	2	6.9	4	3.1
	不 明	7	13.7	3	10.0	2	10.0	0	0.0	12	9.2
母親の婚姻状況 ※第3期より 「死別」を追加	既婚(婚姻中)	10	19.6	12	40.0	3	15.0	9	31.0	34	26.2
	離 婚	13	25.5	3	10.0	3	15.0	4	13.8	23	17.7
	死 別					1	5.0	0	0.0	1	0.8
	未 婚	17	33.3	11	36.7	5	25.0	9	31.0	42	32.3
	不 明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	7	24.1	30	23.1
ゆりかごまでの 主たる移動(交通)手段	車(自家用車)	21	41.2	13	43.3	9	45.0	11	37.9	54	41.5
	航空機	7	13.7	3	10.0	2	10.0	2	6.9	14	10.8
	新幹線等鉄道	15	29.4	9	30.0	2	10.0	6	20.7	32	24.6
	その他(上記以外)	0	0.0	0	0.0	2	10.0	1	3.4	3	2.3
	不 明	8	15.7	5	16.7	5	25.0	9	31.0	27	20.8

【表2-22】

(単位:件、%)

項目	細項目	第1期		第2期		第3期		第4期		合 計	
		件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
家庭の状況	ひとり親家庭	11	21.6	2	6.7	4	20.0	7	24.1	24	18.5
	その他	40	78.4	28	93.3	16	80.0	22	75.9	106	81.5
きょうだいの状況	あ り	24	47.1	12	40.0	7	35.0	13	44.8	56	43.1
	(うち3人以上)	8	15.7	8	26.7	7	35.0	10	34.5	33	25.4
	な し	16	31.4	14	46.7	5	25.0	9	31.0	44	33.8
	不 明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	7	24.1	30	23.1
子どもの実父	母親と婚姻中(夫)	7	13.7	9	30.0	0	0.0	6	20.7	22	16.9
	母親と内縁関係	4	7.8	1	3.3	1	5.0	1	3.4	7	5.4
	その他(恋人等)	12	23.5	7	23.3	4	20.0	8	27.6	31	23.8
	その他(詳細不明)	9	17.6	5	16.7	3	15.0	3	10.3	20	15.4
	実父に別の妻子あり	8	15.7	4	13.3	4	20.0	2	6.9	18	13.8
	不 明	11	21.6	4	13.3	8	40.0	9	31.0	32	24.6
ゆりかごに 預け入れた理由 (第2期以降は複数回答) (預け入れにきた者からの 聞き取りなどを基に分類)	生活困窮	7	13.7	9	30.0	6	30.0	12	41.4	34	26.2
	親(祖父母)等の反対	1	2.0	2	6.7	1	5.0	6	20.7	10	7.7
	未 婚	3	5.9	9	30.0	6	30.0	9	31.0	27	20.8
	不 倫	5	9.8	4	13.3	4	20.0	4	13.8	17	13.1
	世間体・戸籍	3	5.9	6	20.0	1	5.0	7	24.1	17	13.1
	戸籍 (に入れたくない)	8	15.7								
	パートナーの問題	2	3.9	6	20.0	4	20.0	10	34.5	22	16.9
	養育拒否	2	3.9	2	6.7	2	10.0	4	13.8	10	7.7
	育児不安・負担感					0	0.0	5	17.2	5	3.8
	その他	4	7.8	5	16.7	1	5.0	3	10.3	13	10.0
	強 姦	0	0.0								
	母親のうつ・精神障がい	1	2.0								
	友人の勧め	1	2.0								
	不 明	14	27.5	4	13.3	8	40.0	7	24.1	33	25.4

※項目「ゆりかごに預け入れた理由」の細項目整理

第1期(県検証)で13細項目で公表。その後、下記のとおり、細項目整理及び計上方法の見直しを行い整理した。

第2期(13→9細項目)

・「世間体」「戸籍(に入れたくない)」⇒「世間体・戸籍」 ・「強姦」「母親のうつ・精神障がい」「友人の勧め」⇒「その他」

・主たる理由ひとつの単数回答 ⇒ 当てはまる細項目を複数選ぶ複数回答

第3期(9→10細項目)

・追加 ⇒ 「育児不安・負担感」

※項目「出産の場所」の細項目整理

第3期において下記のとおり整理した。細項目数に変動はない。

・医療機関 → 病院、助産院等での出産 ・医療機関(推測) → 子どもの状態から医療機関と推測されるもの

・自宅 → 医療機関以外で、車中を除く。 ・車中 → 車中での出産 ・不明 → 不明なもの

※項目「父母等の居住地」の細項目整理

第4期において下記のとおり整理した。(10→11細項目)

・追加 ⇒ 「国外」

※第1期の数値は、県検証報告書で報告された数値を、平成22年3月31日現在で時点修正したもの。

3 預け入れられた子どものその後の養育状況（【図 2-16】【表 2-23】参照）

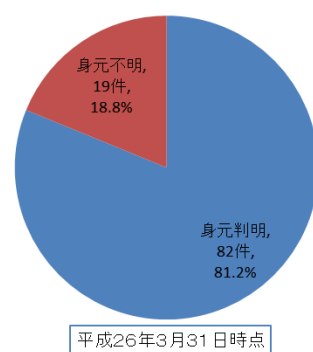
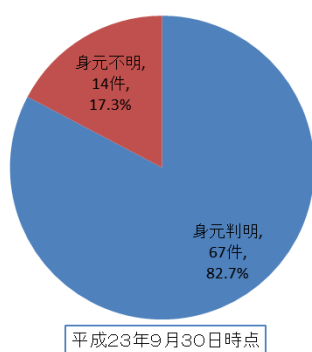
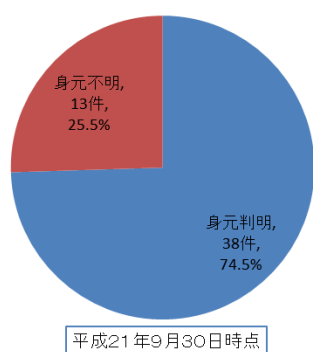
ゆりかごに預け入れられた後の子どもの養育状況について、平成 19 年 5 月 10 日から、平成 29 年 3 月 31 日までの間に預け入れがなされた全 130 事例の平成 29 年 3 月末日時点における状況を検証した。

130 件のうち、身元が判明した事例は 104 件で、判明した割合は 80.0%、身元が不明の事例は 26 件で割合は 20.0%となっている。

以下、身元判明及び身元不明の事例別に養育状況をみていく。

【図 2-16】

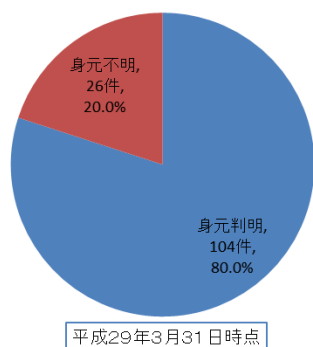
預け入れられた子どものその後の身元判明の状況



【身元判明・身元不明件数の年度ごと推移】

【表 2-23】

(単位:件、%)



期	年度等	時点	平成21年9月30日時点		平成23年9月30日時点		平成26年3月31日時点		平成29年3月31日時点	
			件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合	件数	構成割合
第1期	平成19年度	身元判明	10	58.8	11	64.7	11	64.7	11	64.7
		身元不明	7	41.2	6	35.3	6	35.3	6	35.3
		計	17	100.0	17	100.0	17	100.0	17	100.0
	平成20年度	身元判明	22	88.0	22	88.0	22	88.0	22	88.0
		身元不明	3	12.0	3	12.0	3	12.0	3	12.0
		計	25	100.0	25	100.0	25	100.0	25	100.0
	平成21年度前半	身元判明	6	66.7	8	88.9	9	100.0	9	100.0
		身元不明	3	33.3	1	11.1	0	0.0	0	0.0
		計	9	100.0	9	100.0	9	100.0	9	100.0
	平成21年度後半	身元判明			6	100.0	6	100.0	6	100.0
		身元不明			0	0.0	0	0.0	0	0.0
		計			6	100.0	6	100.0	6	100.0
第2期	平成22年度	身元判明			15	83.3	16	88.9	16	88.9
		身元不明			3	16.7	2	11.1	2	11.1
		計			18	100.0	18	100.0	18	100.0
	平成23年度前半	身元判明			5	83.3	5	83.3	5	83.3
		身元不明			1	16.7	1	16.7	1	16.7
		計			6	100.0	6	100.0	6	100.0
	平成23年度後半	身元判明					2	100.0	2	100.0
		身元不明					0	0.0	0	0.0
		計					2	100.0	2	100.0
	平成24年度	身元判明					8	88.9	8	88.9
		身元不明					1	11.1	1	11.1
		計					9	100.0	9	100.0
第3期	平成25年度	身元判明					3	33.3	4	44.4
		身元不明					6	66.7	5	55.6
		計					9	100.0	9	100.0
	平成26年度	身元判明							8	72.7
		身元不明							3	27.3
		計							11	100.0
	平成27年度	身元判明							10	76.9
		身元不明							3	23.1
		計							13	100.0
	平成28年度	身元判明							3	60.0
		身元不明							2	40.0
		計							5	100.0
合 計		身元判明	38	74.5	67	82.7	82	81.2	104	80.0
		身元不明	13	25.5	14	17.3	19	18.8	26	20.0
		計	51	100.0	81	100.0	101	100.0	130	100

(1) 身元が判明した事例 (【図 2-17】【表 2-24-1】【表 2-24-2】 参照)

ア 判明事例における養育状況

身元が判明した事例においては、親の居住地の児童相談所にケース移管され、ケース移管を受けた親の居住地の児童相談所は、通常の要保護児童の場合の取り扱いと同様に、社会調査等を行い、子どもの家庭環境を把握したうえで、子どもにとって最善の利益を第一に考え、援助を行っている。

身元が判明した 104 件のうち、平成 29 年 3 月 31 日時点においては、乳児院等施設で養育されているものが 25 件 (24.0%) (判明事例 104 件における割合、以下同じ)、里親のもとで養育されているものが 17 件 (16.3%)、家庭に引取られたものが 23 件 (22.1%) となっている。また特別養子縁組が成立した事例が 33 件 (31.7%) である。

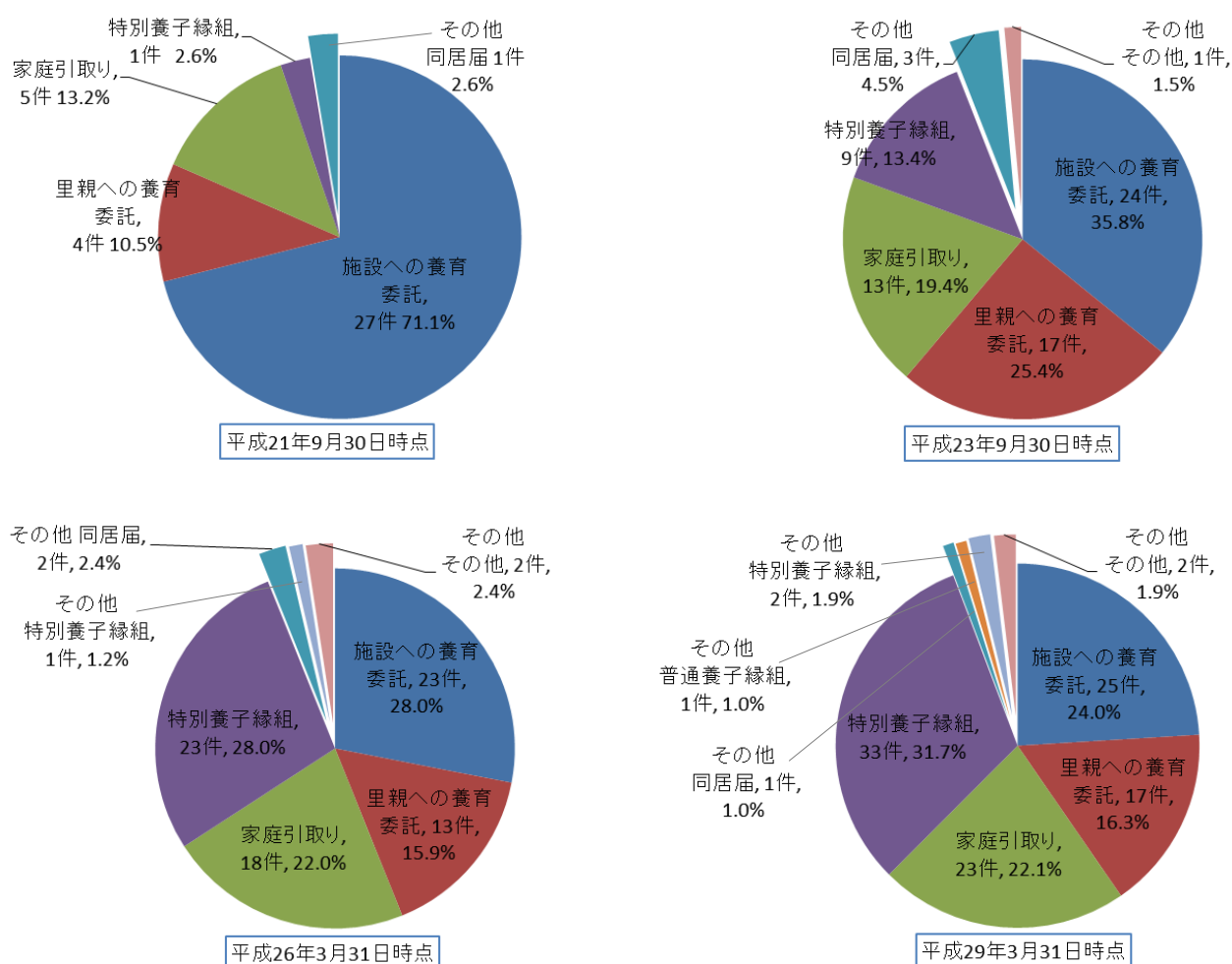
なお、現在里親のもとで養育されている事例のうち、特別養子縁組等を前提として里親委託しているものも複数ある。

イ 養育状況の推移

身元判明事例について平成 21 年 9 月 30 日時点、平成 23 年 9 月 30 日時点、平成 26 年 3 月 31 日時点、平成 29 年 3 月 31 日時点の養育状況を比較すると次のとおりとなる。

【図 2-17】

身元判明の事例における養育状況の推移



まず乳児院等施設へ養育委託されているものについては、全体で見れば平成 21 年 9 月 30 日時点で 71.1%であったものが、平成 29 年 3 月 31 日時点で 24.0%と減少している。これは、第 1 期から第 3 期において預け入れられた子どものうち、乳児院等施設で養育委託されていた子どもが主に里親への養育委託へ移行が進んだためである。さらに、その里親委託から、特別養子縁組の成立へと繋がっている事例がこの第 4 期にも進んでいる。

家庭引き取りに繋がった事例のうち主な経緯は、次のとおりである。

- ・ 母親の意思、親族の理解が示され、協力を得ることができることを確認。引き取りに向け、面会・外出・外泊を繰り返し行い本児も家族に慣れることができた。
- ・ 母方祖父母宅にて、母及び本児への支援を得られる見込みがあった。
- ・ 両親共「こうのとりのゆりかご」に子どもを預けたことを後悔し、両親の協力を得ながら、子どもを引き取り育てていきたいという意向を確認できたため家庭引き取りとなった。
- ・ 母方祖父母が母子を全面的に支援するので、家庭へ引き取りたいと希望。経済面、環境面とも家族で協力し合う体制を整えることができ、安定した養育が可能な状態であると判断された。
- ・ 父母が婚姻し、両家の支援が受けられるようになり、居住地の市役所と連携を図り、見守り体制が確認できた。
- ・ 実母が反省し母方祖父母と本児を養育する意思を示した。また、母方祖父母も実母を支えて本児を引き取りたいと希望した。

但し、一旦家庭引き取りとなったが、第 3 期までには、家庭引き取りとなったものの数年後に、母親による無理心中により母子が死亡した事例が、第 4 期には、保護者が児の多動性・衝動性の受容が難しく、手を上げる状況が出現し再措置となった事例や、兄弟全員がネグレクト状態となり、同意の上施設入所へなった事例があったことから、家庭引き取りについても慎重な対応が求められるところである。

次に、特別養子縁組の成立した子どもは、平成 21 年 9 月 30 日現在の 1 件から平成 29 年 3 月 31 日現在 33 件と大きく増加しており、里親への養育委託されていたものが特別養子縁組に繋がっている。

各期の養育状況についてグラフに示すと次頁のとおりとなる。

【身元判明事例における子どもの養育状況別推移】

【表2-24-1】 ①は平成21年9月30日時点、②は平成23年9月30日時点、③は平成26年3月31時点 ④は平成29年3月31日時点を指す。

子どもの 養育状況		時点	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		全体	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
身元判明	乳児院等施設 への養育委託	①	6	60.0	16	72.7	5	83.3															27	71.1
		②	5	45.5	5	22.7	4	28.6	6	40.0	4	80.0											24	35.8
		③	3	27.3	4	18.2	2	13.3	4	25.0	3	42.9	4	50.0	3	100.0							23	28.0
		④	4	36.4	4	18.2	2	13.3	4	25.0	1	14.3	2	25.0	1	25.0	3	37.5	1	10.0	3	100.0	25	24.0
	里親への 養育委託	①	2	20.0	2	9.1	0	0.0															4	10.5
		②	3	27.3	8	36.4	2	14.3	4	26.7	0	0.0											17	25.4
		③	4	36.4	4	18.2	4	26.7	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0							13	15.9
		④	2	18.2	3	13.6	1	6.7	1	6.3	2	28.6	1	12.5	2	50.0	1	12.5	4	40.0	0	0.0	17	16.3
	家庭に引き 取り、養育	①	1	10.0	3	13.6	1	16.7															5	13.2
		②	0	0.0	5	22.7	3	21.4	4	26.7	1	20.0											13	19.4
		③	0	0.0	5	22.7	3	20.0	5	31.3	3	42.9	2	25.0	0	0.0							18	22.0
		④	0	0.0	5	22.7	3	20.0	4	25.0	3	42.9	2	25.0	0	0.0	3	37.5	3	30.0	0	0.0	23	22.1
	特別養子縁組 の成立	①	0	0.0	1	4.5	0	0.0															1	2.6
		②	1	9.1	4	18.2	4	28.6	0	0.0	0	0.0											9	13.4
		③	2	18.2	9	40.9	5	33.3	5	31.3	1	14.3	1	12.5	0	0.0							23	28.0
		④	3	27.3	10	45.5	8	53.3	5	31.3	1	14.3	3	37.5	1	25.0	1	12.5	1	10.0	0	0.0	33	31.7
	その他	①	1	10.0	0	0.0	0	0.0															1	2.6
		②	2	18.2	0	0.0	1	7.1	1	6.7	0	0.0											4	6.0
		③	2	18.2	0	0.0	1	6.7	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0							5	6.1
		④	2	18.2	0	0.0	1	6.7	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	6	5.8
	小 計	①	10	100.0	22	100.0	6	100.0															38	100.0
		②	11	100.0	22	100.0	14	100.0	15	100.0	5	100.0											67	100.0
		③	11	100.0	22	100.0	15	100.0	16	100.0	7	100.0	8	100.0	3	100.0							82	100.0
		④	11	100.0	22	100.0	15	100.0	16	100.0	7	100.0	8	100.0	4	100.0	8	100	10	100.0	3	100.0	104	100.0

【身元判明事例中「その他」の内訳】

【表2-24-2】 ①は平成21年9月30日時点、②は平成23年9月30日時点、③は平成26年3月31時点 ④は平成29年3月31日時点を指す。

子どもの 養育状況		時点	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		全体	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
その他	その他	①	0	0.0	0	0.0	0	0.0															0	0.0
		②	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0											1	25.0
		③	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0							2	40.0
		④	1	50.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	33.3
	民間 幹旋 団体 仲介	同居届	①	1	100.0	0	0.0	0	0.0														1	100.0
			②	1	50.0	0	0.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0										3	75.0
			③	1	50.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0						2	40.0
			④	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		普通養子 縁組 の成立	①	0	0.0	0	0.0	0	0.0														0	0.0
			②	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0										0	0.0
			③	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0						0	0.0
			④	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1
		特別養子 縁組 の成立	①	0	0.0	0	0.0	0	0.0														0	0.0
			②	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0										0	0.0
			③	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0						1	20.0
			④	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	2
		小計	①	1	100.0	0	0.0	0	0.0														1	100.0
			②	2	100.0	0	0.0	1	100.0	1	100.0	0	0.0										4	100.0
			③	2	100.0	0	0.0	1	100.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0						5	100.0
			④	2	100.0	0	0.0	1	100.0	2	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	6

(2) 身元不明の事例（【図 2-18】【表 2-25】 参照）

ア 不明事例における養育状況

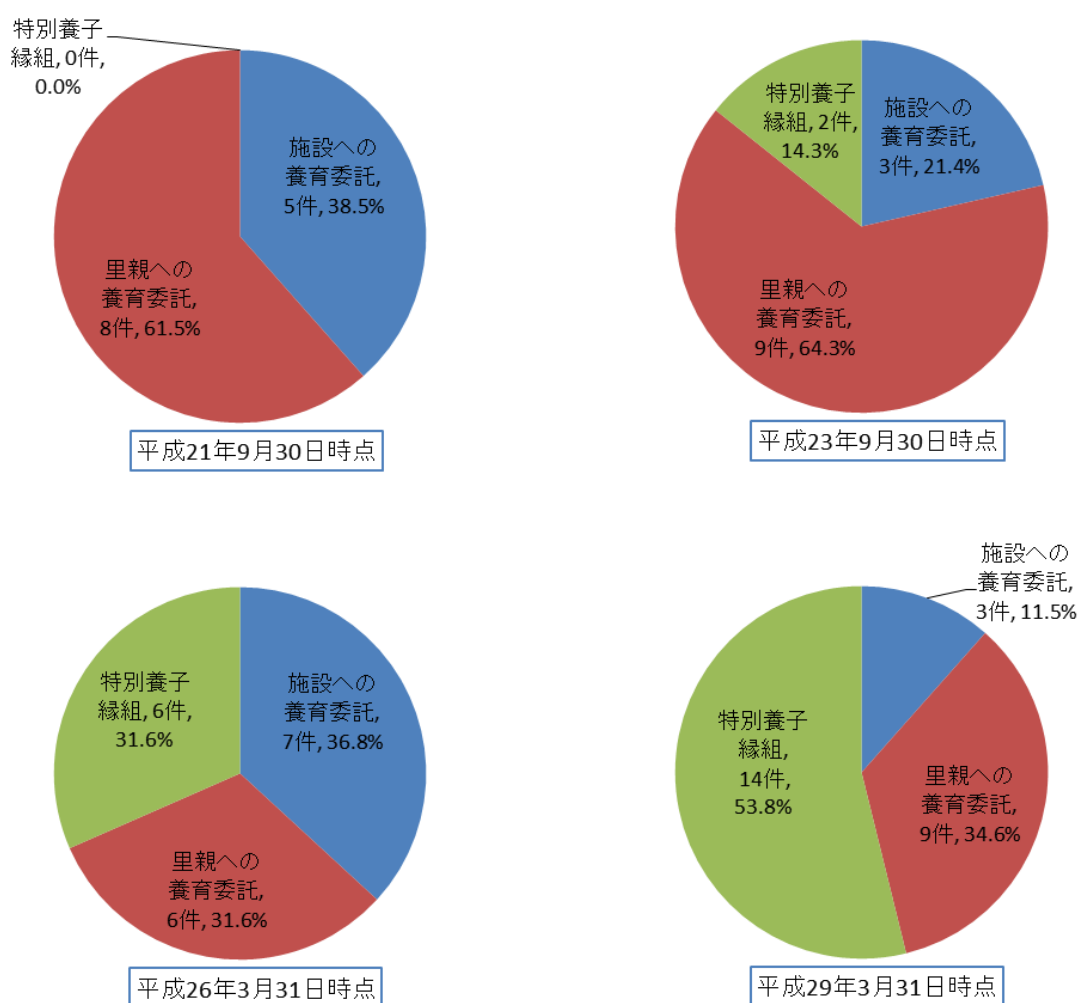
身元が判明していない 26 件については、平成 29 年 3 月 31 日時点で乳児院等施設へ養育委託されているものが 3 件（11.5%）、里親への養育委託が 9 件（34.6%）、また特別養子縁組が成立した事例が 14 件（53.8%）となっている。

イ 養育状況の推移

身元が判明していない事例について、平成 21 年 9 月 30 日時点、平成 23 年 9 月 30 日時点、平成 26 年 3 月 31 日時点、平成 29 年 3 月 31 日時点の比較は次のとおりとなる。

【図 2-18】

身元不明の事例における養育状況の推移



まず、乳児院等施設へ養育委託されているものは、平成 21 年 9 月 30 日時点で 5 件（38.5%）、平成 29 年 3 月 31 日時点で 3 件（11.5%）となっている。身元判明の事例の状況と同じように、第 1 期から第 3 期において預け入れられた子どものうち、施設で養育委託されていた子どもが里親委託へ移行している。また、その里親委託から、特別養子縁組の成立へと繋がっている事例や、特別養子縁組に向けて手続きを進めているものが複数ある。

特別養子縁組は、平成21年9月30日現在において見られなかったが、平成23年9月30日現在では2件（14.3%）、平成26年3月31日現在では6件（31.6%）、平成29年3月31日現在では14件（53.8%）となっている。各期の養育状況についてグラフに示すと次のとおりとなる。

【身元不明事例における子どもの養育状況別推移】

【表2-25】 ①は平成21年9月30日時点、②は平成23年9月30日時点、③は平成26年3月31日時点 ④は平成29年3月31日時点を指す。

身元不明	子どもの養育状況	時点	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		全体	
			件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
身元不明	乳児院等施設への養育委託	①	1	14.3	1	33.3	3	100.0															5	38.5
		②	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	1	100.0											3	21.4
		③	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	100.0							7	36.8
		④	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0	0	0.0	1	50.0	3	11.5
	里親への養育委託	①	6	85.7	2	66.7	0	0.0															8	61.5
		②	5	83.3	1	33.3	1	100.0	2	66.7	0	0.0											9	64.3
		③	4	66.7	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0							6	31.6
		④	3	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	20.0	0	0	3	100.0	1	50.0	9	34.6
	特別養子縁組の成立	①	0	0.0	0	0.0	0	0.0															0	0.0
		②	1	16.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0											2	14.3
		③	2	33.3	2	66.7	0	0.0	1	50.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0							6	31.6
		④	3	50.0	2	66.7	0	0.0	2	100.0	1	100.0	0	0.0	3	60.0	3	100	0	0.0	0	0.0	14	53.8
	小計	①	7	100.0	3	100.0	3	100.0															13	100.0
		②	6	100.0	3	100.0	1	100.0	3	100.0	1	100.0											14	100.0
		③	6	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	6	100.0							19	100.0
		④	6	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	5	100.0	3	100	3	100.0	2	100.0	26	100.0

ゆりかごに預け入れられた子どもの身元判明、身元不明の全 130 事例の養育状況の推移は次のとおりである。

【表2-26】 ①は平成21年9月30日時点、②は平成23年9月30日時点、③は平成26年3月31日時点 ④は平成29年3月31日時点を指す。

子どもの 養育状況	時点	19年度		20年度		21年度		22年度		23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		全体		
		件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合	
身元判明	乳児院等施設への養育委託	①	6	60.0	16	72.7	5	83.3															27	71.1
		②	5	45.5	5	22.7	4	28.6	6	40.0	4	80.0											24	35.8
		③	3	27.3	4	18.2	2	13.3	4	25.0	3	42.9	4	50.0	3	100.0							23	28.0
		④	4	36.4	4	18.2	2	13.3	4	25.0	1	14.3	2	25.0	1	25.0	3	37.5	1	10.0	3	100.0	25	24.0
	里親への養育委託	①	2	20.0	2	9.1	0	0.0															4	10.5
		②	3	27.3	8	36.4	2	14.3	4	26.7	0	0.0											17	25.4
		③	4	36.4	4	18.2	4	26.7	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0							13	15.9
		④	2	18.2	3	13.6	1	6.7	1	6.3	2	28.6	1	12.5	2	50.0	1	12.5	4	40.0	0	0.0	17	16.3
	家庭に引き取り、養育	①	1	10.0	3	13.6	1	16.7															5	13.2
		②	0	0.0	5	22.7	3	21.4	4	26.7	1	20.0											13	19.4
		③	0	0.0	5	22.7	3	20.0	5	31.3	3	42.9	2	25.0	0	0.0							18	22.0
		④	0	0.0	5	22.7	3	20.0	4	25.0	3	42.9	2	25.0	0	0.0	3	37.5	3	30.0	0	0.0	23	22.1
	特別養子縁組の成立	①	0	0.0	1	4.5	0	0.0															1	2.6
		②	1	9.1	4	18.2	4	28.6	0	0.0	0	0.0											9	13.4
		③	2	18.2	9	40.9	5	33.3	5	31.3	1	14.3	1	12.5	0	0.0							23	28.0
		④	3	27.3	10	45.5	8	53.3	5	31.3	1	14.3	3	37.5	1	25.0	1	12.5	1	10.0	0	0.0	33	31.7
	その他	①	1	10.0	0	0.0	0	0.0															1	2.6
		②	2	18.2	0	0.0	1	7.1	1	6.7	0	0.0											4	6.0
		③	2	18.2	0	0.0	1	6.7	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0							5	6.1
		④	2	18.2	0	0.0	1	6.7	2	12.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	10.0	0	0.0	6	5.8
	小 計	①	10	100.0	22	100.0	6	100.0															38	100.0
		②	11	100.0	22	100.0	14	100.0	15	100.0	5	100.0											67	100.0
		③	11	100.0	22	100.0	15	100.0	16	100.0	7	100.0	8	100.0	3	100.0							82	100.0
		④	11	100.0	22	100.0	15	100.0	16	100.0	7	100.0	8	100.0	4	100.0	8	100	10	100.0	3	100.0	104	100.0
身元不明	乳児院等施設への養育委託	①	1	14.3	1	33.3	3	100.0															5	38.5
		②	0	0.0	1	33.3	0	0.0	1	33.3	1	100.0											3	21.4
		③	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	100.0							7	36.8
		④	0	0.0	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	20.0	0	0	0	0.0	1	50.0	3	11.5
	里親への養育委託	①	6	85.7	2	66.7	0	0.0															8	61.5
		②	5	83.3	1	33.3	1	100.0	2	66.7	0	0.0											9	64.3
		③	4	66.7	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0							6	31.6
		④	3	50.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	1	20.0	0	0	3	100.0	1	50.0	9	34.6
	特別養子縁組の成立	①	0	0.0	0	0.0	0	0.0															0	0.0
		②	1	16.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0											2	14.3
		③	2	33.3	2	66.7	0	0.0	1	50.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0							6	31.6
		④	3	50.0	2	66.7	0	0.0	2	100.0	1	100.0	0	0.0	3	60.0	3	100	0	0.0	0	0.0	14	53.8
	小 計	①	7	100.0	3	100.0	3	100.0															13	100.0
		②	6	100.0	3	100.0	1	100.0	3	100.0	1	100.0											14	100.0
		③	6	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	6	100.0							19	100.0
		④	6	100.0	3	100.0	0	0.0	2	100.0	1	100.0	1	100.0	5	100.0	3	100	3	100.0	2	100.0	26	100.0
合 計	乳児院等施設への養育委託	①	7	41.2	17	68.0	8	88.9															32	62.7
		②	5	29.4	6	24.0	4	26.7	7	38.9	5	83.3											27	33.3
		③	3	17.6	5	20.0	2	13.3	4	22.2	3	37.5	4	44.4	9	100.0							30	29.7
		④	4	23.5	5	20.0	2	13.3	4	22.2	1	12.5	2	22.2	2	22.2	3	27.3	1	7.7	4	80.0	28	21.5
	里親への養育委託	①	8	47.1	4	16.0	0	0.0															12	23.5
		②	8	47.1	9	36.0	3	20.0	6	33.3	0	0.0											26	32.1
		③	8	47.1	4	16.0	4	26.7	1	5.6	0	0.0	2	22.2	0	0.0							19	18.8
		④	5	29.4	3	12.0	1	6.7	1	5.6	2	25.0	2	22.2	3	33.3	1	9.1	7	53.8	1	20.0	26	20.0
	家庭に引き取り、養育	①	1	5.9	3	12.0	1	11.1															5	9.8
		②	0	0.0	5	20.0	3	20.0	4	22.2	1	16.7											13	16.0
		③	0	0.0	5	20.0	3	20.0	5	27.8	3	37.5	2	22.2	0	0.0							18	17.8
		④	0	0.0	5	20.0	3	20.0	4	22.2	3	37.5	2	22.2	0	0.0	3	27.3	3	23.1	0	0.0	23	17.7
	特別養子縁組の成立	①	0	0.0	1	4.0	0	0.0															1	2.0
		②	2	11.8	5	20.0	4	26.7	0	0.0	0	0.0											11	13.6
		③	4	23.5	11	44.0	5	33.3	6	33.3	2	25.0	1	11.1	0	0.0							29	28.7
		④	6	35.3	12	48.0	8	53.3	7	38.9	2	25.0	3	33.3	4	44.4	4	36.4	1	7.7	0	0.0	47	36.2
	その他	①	1	5.9	0	0.0	0	0.0															1	2.0
		②	2	11.8	0	0.0	1	6.7	1	5.6	0	0.0											4	4.9
		③	2	11.8	0	0.0	1	6.7	2	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0							5	5.0
		④	2	11.8	0	0.0	1	6.7	2	11.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.7	0	0.0	6	4.6
合 計		①	17	100.0	25	100.0	9	100.0															51	100.0
		②	17	100.0	25	100.0	15	100.0	18	100.0	6	100.0											81	100.0
		③	17	100.0	25	100.0	15	100.0	18	100.0	8	100.0	9	100.0	9	100.0							101	100.0
		④	17	100.0	25	100.0	15	100.0	18	100.0	8	100.0	9	100.0	9	100.0	11	100	13	100.0	5	100.0	130	100.0

一見すると身元判明と身元不明で子どもの養育状況に違い（例えば、「乳児院等施設への養育委託」の割合）があるように見えるが、身元不明に「家庭に引き取り、養育」がないことが影響しており上表のみでの単純比較は不可

なお、各年度における預け入れ後の変化については次の図のとおりである。

【図2-27】 平成21年9月30日 ⇒ 平成23年9月30日 ⇒ 平成26年3月31日 ⇒ 平成29年3月31日

